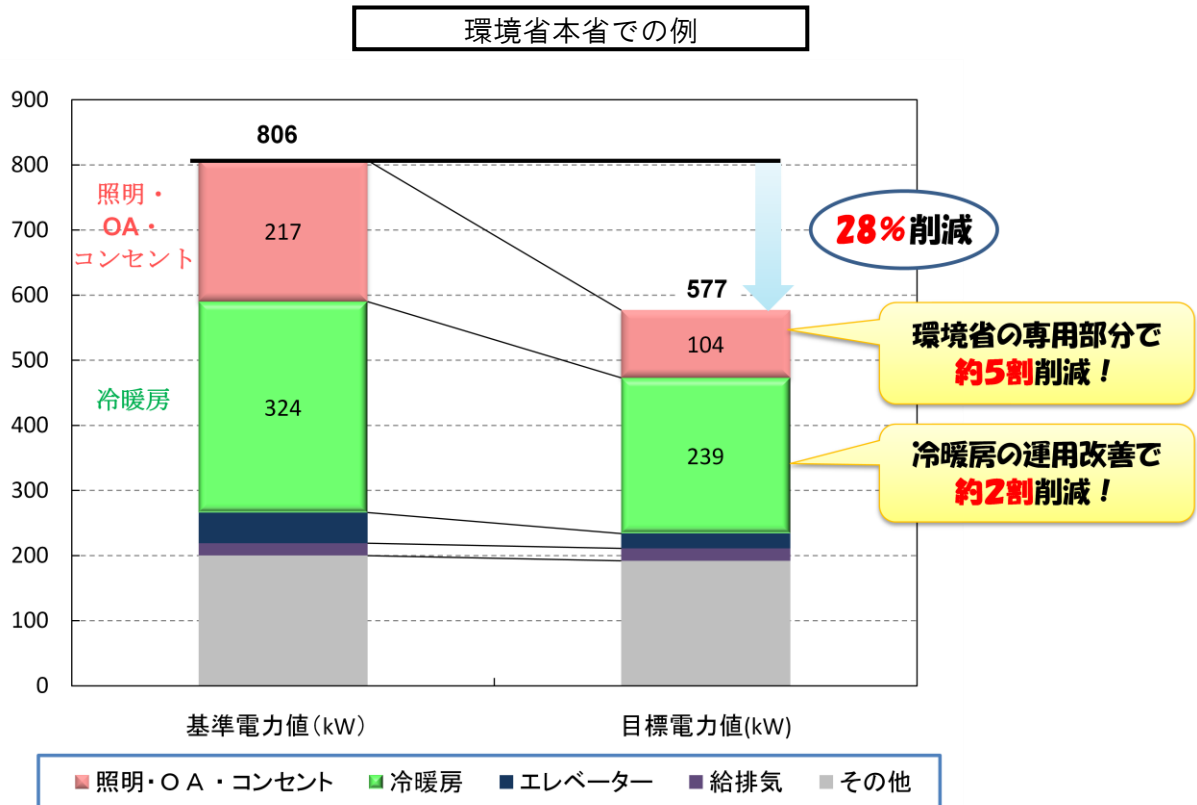


環境省節電実行計画に見る 「オフィスでできる節電、7つのポイント」

【環境省の削減目標】

○「オフィスでできる節電、7つのポイント」で、環境省も使用電力を原則 25%を超えるように削減。



【オフィスでできる節電、7つのポイント アクション事例と環境省の対策】

1 エアコンで節電 — 設定温度・風向きを調節して節電！ —

【ACTION】

- 室温の設定は 28℃に
- 冷房は、必要な場所だけに
- エアコンも、こまめにスイッチオフ
- 風向きを上手に調節
- フィルターのお掃除はこまめに

環境省では、次の対策を実施。

- 5号館全体で、冷房を早朝に稼働し、日中の稼働負荷を低減
- 扇風機やファンによる空気循環の促進及び体感温度の低減

85kW 節電！
(冷房の約 2 割減)

2

クールビズスタイルで快適に！

【ACTION】

公式の場でも、上着省略スタイルを徹底

体感温度を下げるグッズの活用

涼しく働けるように就業時の服装を工夫

環境省では、次の対策を実施。

- 暑さ対策としてのスーパークールビズスタイルの推進
(例) ポロシャツの奨励、ノー上着の徹底、
冷涼グッズの活用等

85kW 節電！
(冷房の約 2 割減)

※削減効果は「1 エアコンで節電」の効果を再掲

3

断熱性を向上 — 熱の出入りを効果的に防いで節電！ —

【ACTION】

窓からの熱の出入りを防ぐ

断熱シートを窓に貼る

2重窓やグリーンカーテン(緑のカーテン)の導入

朝夕の涼しい時間に、打ち水をしよう

環境省では、次の対策を実施。

- 二重窓等の導入、ブラインドの活用
- 断熱シートの利用

85kW 節電！
(冷房の約 2 割減)

※削減効果は「1 エアコンで節電」の効果を再掲

4

照明で節電！

【ACTION】

照度を下げる、間引き点灯をする

器具の掃除で明るさアップ

点灯時間を短くしよう

人感センサーをうまく活用しよう

省エネ型の照明器具に買換えよう

環境省では、次の対策を実施。

- LED 手元照明の導入による日中の蛍光灯を消灯
- 蛍光灯の調光、間引き

53kW 節電！
(照明の約 6 割減)

5 就業の見直し

【ACTION】

就業時間を前倒しする

夏休みは各フロアで一斉に

ノー残業デーを推奨しよう

環境省では、次の対策を実施。

- 省内での輪番休業を導入し、平日に休暇を取り、土曜日に出勤することを、試行の上検討
- 就業時間をずらすことにより、登庁時、昼休みの混雑緩和
- テレワークを活用した自宅勤務の推奨

6 省エネ機器で節電！

【ACTION】

省エネタイプの高効率OA機器を導入

太陽光発電や太陽熱温水器を新しく設置

最新の省エネ基準を満たす断熱材やエコガラスを採用

環境省では、次の対策を実施。

- ピーク時間帯に半分以上のプリンタ、コピー機の使用を停止
- 会議資料や報道発表資料等の印刷物を削減
- パソコンに電源自動制御ソフトを導入
- IT機器を省エネ用に更新

この他、皇居外苑施設に太陽光発電設備を導入

50kW 節電！
(OA機器等の約4割減)

7 省エネ行動で節電！

【ACTION】

エレベータの使用を控える

コンセントを抜く、便利な機能や機器を活用する

OA機器のこまめなスイッチオフ

ライトダウン・キャンペーンへの参加・拡大

環境省では、次の対策を実施。

- リアルタイムの電力使用状況や電力使用実績を「見える化」
- パソコンの照度設定を調整
- 冷蔵庫を削減、電子ポット等を不使用、自動販売機を撤去、
水筒・マイボトルの持参の励行
- エレベータを間引き
- 可能なものから段階的にサーバーを停止

50kW 節電！
(OA機器等の約4割減)

※削減効果は「6 省エネ機器で節電」の効果を再掲

注) 環境省本省における電力の削減見込み量は、想定値であり、実際には、使用状況等によって変わる場合がある。